

令和6年度母子保健事業(健康推進課)の 主な事業内容・実績

1

乳幼児健康診査従事者スキルアップ研修会

事業名:母子保健精度管理・基盤整備事業

- 日 時:令和6年8月28日(水) 13:30~16:30 場 所:権原総合庁舎101会議室
- テーマ:5歳児健康診査の推進と発達障害の早期発見、支援について
- 対 象:県内市町村の乳幼児健康診査従事者及び県保健所母子保健担当者 参加者:56名
- 内 容:1)情報提供 奈良県健康推進課
 - 2)講義「5歳児健康診査について」 奈良県立医科大学小児科学教室 教授 野上恵嗣 先生
 - 3)講義「発達障害の早期発見、早期支援について」 奈良県立医科大学小児科学教室 医員 川口達也 先生
 - 4)発達障害児者支援について 奈良県障害福祉課
- 結 果:発達障害への関わり方に対する理解が深まり、複数の市町村担当者が検診の実施について前向きに検討

なぜ5歳児健診を行うのか

神経発達症
反抗挑発症
素行乱
反社会性人格障害

破壊的行動障害(DBD)マーチ

ほどほどの自尊心
周囲の理解
適切な関わり方

そのためには早期発見・早期介入が必要

【野上先生資料】

横山浩之. 発達障害の臨床. 2022. 鶴新出版.

5歳児健診の実施例(鳥取県の場合)

伯耆町、南部町、大山町
全児童で5歳時健診
療育相談は行わず、園での個別観察、医療機関紹介のみ

米子市
園・支援センターからの相談、または保護者からの**希望者のみ**
療育相談も行う

鳥取県東部
全児童?で5歳児健診
スクリーニングのみで、引っ掛ければ医療機関紹介

【川口先生資料】

奈良県 性と健康の相談センター「ならはぐ」

事業名:性と健康の相談センター事業

○奈良県 性と健康の相談センター「ならはぐ」

開設日:令和6年5月1日 (株式会社ファミワン(本社:東京都)に業務委託)

内 容: 妊娠・出産、不妊をはじめ、思春期や更年期、プレコンセプションケア等について、SNSを活用した相談を実施

相談件数:249件(登録者数108人) 令和6年11月末時点

○プレコンセプションケアセミナー

日 時:令和6年10月28日(月) 13:30~15:00 オンライン方式

対 象:保健所、市町村、学校関係者 参加者:35名

テーマ:プレコンセプションケアを知ろう、語ろう



【一般周知用チラシ】



【バス車内広告】



【若年層向け配布用カード】



【セミナーチラシ】

3

奈良県妊娠等の悩み相談窓口

事業名:性と健康の相談センター事業

○開設日:令和6年6月1日 (一般社団法人奈良県医師会(奈良県産婦人科医会)に業務委託)

○内 容:予期せぬ妊娠など、妊娠に関する悩みに対して電話相談を実施

○相談件数:50件 (令和6年11月末時点)



【一般周知用チラシ】



【一般周知用カード】

4

○日 時：令和6年11月27日(水) 14:00～16:00 場 所：県権原総合庁舎101会議室

○構成メンバー：産科医師、助産師、学識経験者及び県、市町村の関係職員

○内 容：①県における妊産婦の現状について

2)妊娠届出時からのアセスメントと支援体制について

3)妊産婦のメンタルヘルス対策について

○結 果：現状の共有と、課題整理

令和7年度は産後ケア事業を行う施設等への精度管理と妊産婦に対するメンタルヘルスの支援体制の構築に向けた協議を行なうことを確認。

先天性代謝異常等検査事業、新生児マススクリーニング検査に関する実証事業

事業名：母子保健検査事業

○先天性代謝異常等検査事業

- ・先天性代謝異常症など20疾患を対象に検査を実施（一般社団法人岐阜県公衆衛生検査センターに業務委託）。
- ・令和6年度より要精密検査者に対し、県保健所等による受診勧奨等の体制を構築。
- ・検査件数：延べ4,954件 うち要精密検査13名 確定診断2名（令和6年10月末時点）

○新生児マススクリーニング検査に関する実証事業

- ・令和6年3月26日より、国の実証事業に参画
- ・SMA（脊髄性筋萎縮症）及びSCID（重症複合免疫不全症）の2疾患を追加検査。
- ・検査件数：4,381件 うち要精密検査3名 確定診断なし

検査の方法

生後5日目頃の赤ちゃんの足の裏から採取したごく少量の血液をろ紙にしみこませて検査します。

現在の20種類の病気の検査に用いているろ紙血を使用するので、赤ちゃんに新たな負担はありません。

検査の結果

結果は、陽性（疾患の可能性がある）、再検査・陰性（疾患の可能性が低い）で判定されます。

この検査で陽性となった場合

すぐに診断・治療ができる施設の医師に受診していただき、採血等での精密検査や個別治療が必要となることがあります。



先天性代謝異常等検査

現在、先天性代謝異常症などの20種類の病気について公費で新生児マススクリーニング検査を行われ、早期発見・早期治療につながっています。本事業では、以下の2つの病気を新たに追加します。
※追加の2疾患についても公費で実施されます。

① 脊髄性筋萎縮症（SMA）

全身の筋力低下が進行し、治療しないと乳児期に亡くなることもある病気です。大多数は乳児期に発症します。出生2万人あたり1人の割合でSMAをもつ赤ちゃんが生まれると言われています。

根治治療薬や、遺伝子治療を用いて、有効な治療を行う事が可能です。

詳しくは、ホームページをご覧下さい。
(<https://www.sma-jrt.org/sma.html>)

② 重症複合免疫不全症（SCID）

乳幼児期から感染症を繰り返し、治療しないと乳児期に亡くなることもある病気で、生まれつきの免疫不全症の中で最も重症な病気です。出生5万人あたり1人の割合でSCIDをもつ赤ちゃんが生まれるとされています。

免疫グロブリンの注射や、抗菌薬などで感染症を予防しつつ、骨髄移植や骨髄移植で根治することが可能です。

詳しくは、ホームページをご覧下さい。
(<https://pid-j-nbs.jp/scid.html>)

新生児マスクリーニングネットワーク会議

事業名:母子保健検査事業

- 日 時:令和6年12月3日(火) 17:30~19:00 場 所:県庁会議室 (ハイブリッド開催)
- 委 員:内の主な4病院※の小児科責任医師 ※ 奈良県立医科大学附属病院、奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院、天理よろづ相談所病院
- 内 容:1)全国における先天性代謝異常等検査事業の概況について 奈良県立医科大学小児科学教室 教授 野上恵嗣 先生
2)奈良県における先天性代謝異常等検査事業の実施状況について
3)新生児マスクリーニング検査の状況について(4病院調査結果) 奈良県立医科大学小児科学教室 助教 長谷川真理 先生
4)拡大マスクリーニングについて
5)追跡調査(予後調査)について 奈良県立医科大学小児科学教室 助教 長谷川真理 先生
- 結 果:要精密検査者に対する支援体制を整備できることから、次年度以降は予後調査を実施予定。

7

不妊治療支援実施準備事業

事業名:不妊治療支援実施準備事業

○ 市町村・医療機関との協議

実施期間:令和6年7月~8月

内 容:<市町村>補助制度の概要について、市町村の現状等

<医療機関>補助制度の概要および受診証明書案について、生殖補助医療実施医療機関から意見聴取

○ 機運醸成のための講演会・市町村説明会

日 時:令和6年9月4日(水) 13:30~16:30 場 所:奈良県コンベンションセンター 204会議室

対 象 者:市町村及び保健所の不妊治療支援担当者 参加者:54名

内 容:事業説明 奈良県健康推進課

講演「不妊治療の基礎知識と最新情報」

奈良県立医科大学産婦人科講座 教授・奈良県立医科大学附属病院高度生殖医療センター 副センター長 木村文則 先生

補助制度の概要

補助対象治療

生殖補助医療のうち

● **保険適用**となった治療

● 保険適用の範囲となった治療に**追加的に実施される先進医療***

*先進医療とは、厚生労働大臣の定める先進医療及び患者申出療養並びに施設基準(平成20年厚生労働省告示第129号)。以下「国告示」という。)第1の1に規定する先進医療であって、国告示第1の2に規定する厚生労働大臣が認めた病院又は診療所で行うもの

<不妊治療の全体像>

一般不妊治療【保険適用】

<p>保険適用対象治療</p> <p>1)採卵、採精（男性不妊） 2)体外受精、顎微授精 3)受精卵、胚培養 4)胚凍結保存 5)胚移植</p>	<p>【保険適用】※年齢・回数制限あり(1子ごと) ・40歳未満　通算6回まで ・40歳以上43歳未満　通算3回</p> <p>【保険適用外】 回数制限の超過分</p>
---	--

先進医療として認められた医療技術【保険適用外】
*保険適用対象治療1)~5)に追加的に実施されるもの

先進医療として認められていない医療【保険適用外】

【説明会資料より】

8

奈良県の移行期医療体制を考える会

事業名:小児慢性特定疾病対策事業

○ 奈良県の移行期医療体制を考える会(小児診療科・成人診療科合同会議)

日 時:令和6年10月17日(木)18:30~20:30

場 所:奈良県立医科大学 岩槻会館

構成員:奈良県立医科大学附属病院長、小児科学教室教授、脳神経内科教授、糖尿病・内分泌内科教授

天理よろづ相談所病院長 奈良県総合医療センター小児科部長、消化器内科部長

近畿大学奈良病院小児科責任者・診療部長 奈良県西和医療センター院長 奈良医療センター院長

内 容:県内の移行期医療に係る現状や小児診療科、成人診療科それぞれの課題について

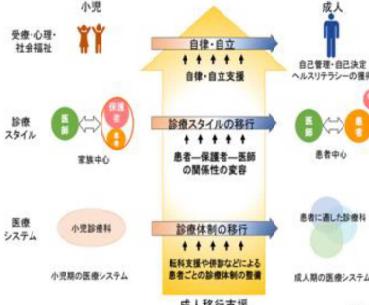
結 果:令和7年度から現状把握や勉強会等を継続して議論していく。

移行期医療支援センターを奈良県立医科大学附属病院に設置する方針について合意。

資料 1

成人移行支援／移行期医療支援の概念

トランジション(移行)は「小児期発症の慢性疾患を持つ患者が小児を対象としたヘルスケアから成人を対象とするヘルスケアへ切れ目なく移る計画的、組織的、包括的な患者を中心のプロセス」を意味し、**透明で必要な情報を明瞭に提供することやその人らしい生活を送ることを目的**とし、自律・自立支援、転科支援や併診などによる診療体制の整備が含まれる。自律・自己支援には、自己管理・自己決定・ヘルスリテラシー獲得のための支援や、就学・就労支援が含まれる。



【会議資料より】

日本小児科学会 移行支援に関する提言作成ワーキンググループ資料(2023年)一部改変

9

小児慢性特定疾病児童等相互交流事業

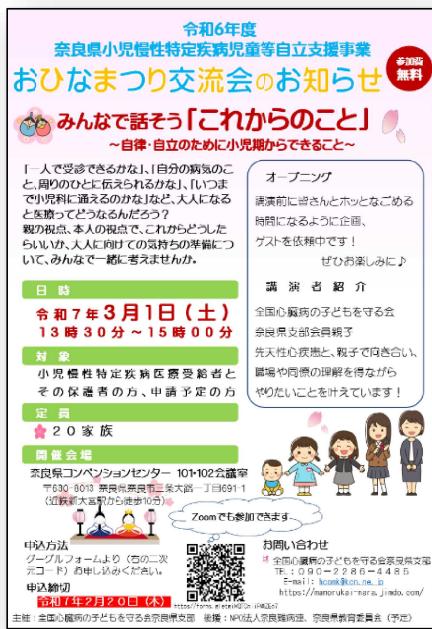
事業名:小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

○ 小児慢性特定疾患児童等相互交流事業(全国心臓病の子どもを守る会奈良県支部に委託)

日 時:令和7年3月1日(土)13:30~15:00 場 所:奈良県コンベンションセンター

対 象:小児慢性特定疾病医療受給者とその保護者等

内 容:おひなまつり交流会(全国心臓病の子どもを守る会奈良県支部会員から体験談、交流会)



【令和5年度交流会の様子】

【案内チラシ】

10

令和6年度中に実施する予定の事業

大事業名	小児慢性特定疾病対策事業
事業名	小児慢性特定疾病対策協議会
事業内容 (予定)	日時:令和7年1月31日(金)14:00~16:00 場所:奈良県コンベンションセンター 内容: (1)奈良県小児慢性特定疾病対策協議会について (2)奈良県における小児慢性特定疾病児童等医療費助成について (3)奈良県小児慢性特定疾病児童等自立支援事業について (4)奈良県小児慢性特定疾病等の生活に関するアンケート調査結果について (5)移行期医療支援体制について
大事業名	母子保健振興事業
事業名	新生児聴覚検討会
事業内容 (予定)	日時:令和7年2~3月頃 内容:奈良県における新生児聴覚検査の取り組み状況等について 等
大事業名	性と健康の相談センター事業
事業名	HTLV-1母子感染予防対策検討会・HTLV-1母子感染予防対策研修会
事業内容 (予定)	日時:令和7年2~3月頃 内容:奈良県の HTLV-1 母子感染予防対策等について等

○その他

- 未受診妊婦の実態調査:近年、未受診妊婦の搬送事案が増えており、未受診妊婦の背景、分娩後の状況等についての実態を把握することで、課題の整理及び支援体制を検討する。

対象:県内市町村